

平成27年度3年次編入学入試問題

東洋史（出題意図）

（法文学部 社会文化学科）

- 1 中国史に関する論述問題である。中国史についての基礎的な知識、関心及び理解を問うものであるとともに、論理的な文章を作成する能力をみようとしたものである。
 - (1) 本問では、中国をめぐる国際関係の歴史についての論述を求めたものであるが、その国際関係の内実については特に指定をしていないので、外交・貿易・文化交流などさまざまなテーマでの回答が可能である。また、時代についても特に限定していないので、通史的に述べても良いし、特定の時期に焦点をあてて述べても良い。このように論述題の自由度を高めることによって、受験生が主体的にもっている中国史に対する関心のありようと、中国史についての知識・理解を問うた出題である。
 - (2) 中国史を通史的に把握できているかを問う問題である。中国前近代のほとんどの期間において、国家運営の中核を担っていたのは官僚であった。そして官僚になることは、政治のみならず、社会的・文化的な意味においてもほぼ唯一の栄達への道であった。歴代王朝がどのような仕組みを作り、どのような人々を官僚として登用していったのか、時代を追って理解できているかを問うた出題である。
- 2 中国史に関する重要語句について説明を求める問題である。中国史に関する基礎的事項についての知識・理解を測ろうとする出題である。